



さくらっ子集会 ～ぼく、わたしのすてきなところ～

9月24日(水)に、さくらっ子集会を行いました。「だれもが居心地の良い学級・学校」にするために、6年生が、発表や人権劇を通して、全校児童に考えたことを発信してくれました。

まずは夏休みに行われた「いじめ STOP 愛顔のこども会議」の参加者が、市内の中学生や小学生と話し合ったことを報告しました。

その後は、今年度毎月行っている「いまのわたしアンケート」の分析をすることで見えてきた全校児童の課題から、「自分が好き」とみんなが言える寒川小学校になってほしいと願っていることを伝えました。また、1年生の道徳科の教科書に載っている「ええところ」の朗読を6年生がしました。

人権劇では、「ぼく、わたしのすてきなところ」と題し、周りと比べて運動や勉強が苦手な悩んでいる主人公の生活のいろいろな場面を劇に見せてくれました。縦割り班の話合いでは、主人公のすてきなところを1～5年生がたくさん見つけてくれて、とても良い話合いができました。劇の後半で6年生がまとめをし、「だれかと比べない自分らしさ、自分のすてきなところ」が誰にでもあると思えるさくらっ子集会でした。



堂々と全校児童に伝わる声で発表し、真剣に取り組み、しっかりと下学年をリードする6年生はとても頼もしく輝いていました。後期も寒川小学校を引っ張っていってくれることと期待しています。

今年度は、さくらっ子集会と愛護班別人権・同和教育研修会のテーマを「自己肯定感」でつなぎました。子どもたちが「自分には頑張る力がある」「自分には価値がある」「自分が好き」と感じられるよう、学校と家庭が手を取り合って歩んでいきたいと願っています。ご家庭でも、子どもたちの小さな成長に🍀をつけて、前向きな声かけをぜひ続けてください。また、「親自身の自己肯定感を高めることが、子どもの自己肯定感につながる」と学んだように、おうちの皆様も、ご自身の頑張りをしっかり認めてください。ポジティブな風をおうちの中にも吹かせましょう。



防災参観日～大切な人の命を災害から守るために～

10月7日(火)に防災参観日では、学年ごとにテーマを決めて、災害に備える学習を行いました。

1年生 「通学路での安全な行動」について学習しました。自分だけで帰る場面もある中で、「自分の命は自分で守る」ための知識とスキルを身につけることが大切です。通学路の危険を想定しながら、どう行動すべきかをみんなで考えました。



1年生

2年生 「避難所でのリラクゼーション」をテーマに、講師の方をお招きして、避難所生活での心と体の健康について学びました。ストレスや同じ姿勢が命に関わることもあると知り、友達やおうちの人と一緒にセラピーを体験しました。両手をこすって元気玉を作り、背中に当てるだけでも気持ちよく、歌に合わせたリラクセスも行き、笑顔いっぱい学びを締めくくりました。



2年生

3年生 「家の中の危険」について学習しました。地震時に落下・転倒する物への備えの大切さを学び、ホームセンター「タイム」の方々に講師にお招きして、防災リュックやグッズを実際に見ながら説明していただきました。実物を通して防災を身近に感じ、家庭での備えにもつながる学びとなりました。



3年生

4年生 「今の自分にできること」について4年生は「今の自分にできること」をテーマに、社会科で学んだ風水害の様子を動画で見たり、ハザードマップで避難場所を確認したりしました。もしも子どもだけで避難しなければならなくなったとき、どう行動すればよいかを考えながら、役立つ防災カードづくりにも取り組みました。自分の命を守るために、今できることを一つひとつ形にしていく学びとなりました。



4年生

5年生 「自分の命を守るために」をテーマに、四国中央ゆらし隊の方を講師にお招きし、「地震体験揺れマット」を使って安全な姿勢を体験しました。従来の「ダンゴムシのポーズ」は激しい揺れの中では危険だと分かり、「カエルのポーズ」(しゃがみこんで両手足を床につける)を学びました。踏ん張る・確認する・避難する力を身につけ、今後他学年にも広げていきたい学びとなりました。



5年生

6年生 「情報発信について」をテーマに、災害時に正しい情報とデマを見抜く力について学習しました。SNSなど情報があふれる中で、冷静に判断し、正しく発信することが、自他の命を守ることに繋がると、真剣に考えました。



6年生

5年生に来てくださった講師であり防災士でもある内川様が、授業の中でこんなお話をされました。「降水確率80%と聞けば、ほとんどの人が傘を持って出かけますよね。地震が起こる可能性も、それくらい高いのです。だから、危機感を持って備えておかなければならないんです。」

この言葉に、私たちの防災意識を見直すヒントが詰まっています。“いつか”ではなく、“もしも”に備えること。自分の大切な人の命を守るために、学校でも家庭でも、できることから始めていきましょう。

5年生の防災学習にあたり、活動資金へのご協力をありがとうございました。お子さんを通じて、また参観日には直接の募金もいただき、心より感謝申し上げます。学びをさらに深める機会として、12月8日(月)に石巻市大川小学校で被災された方々のその後を描いた映画の上映を予定しています。命の大切さ、防災への備えについて考えるひとときとなります。ぜひご来場ください。